

第 86 回全日本学生ヨット選手権大会

| | |
|------|--|
| 共同主催 | 全日本学生ヨット連盟 中部学生ヨット連盟 |
| 大会期間 | 2021年11月3日(水・祝)～2021年11月7日(日) |
| 開催地 | 愛知県蒲郡市海陽町1-7 豊田自動織機海陽ヨットハーバー |
| 公認 | 公益財団法人 日本セーリング連盟 【2021-11】 |
| 後援 | 蒲郡市 中部ヨット協会 愛知県ヨット連盟 日本470協会 一般社団法人 日本スナイプ協会 |
| 協賛 | 日建・レンタコムグループ 日建レンタコム株式会社 日建リース工業株式会社 日建片桐リース株式会社 明治商工株式会社 株式会社伊藤園 蒲郡市観光協会 |
| 協力 | 豊田自動織機海陽ヨットハーバー 蒲郡・三谷温泉平野屋 株式会社丸玉運送 |

レース公示

略語

「SP」 レース委員会、またはテクニカル委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これは規則 63.1 及び A5 を変更している。当該委員会はその規則の違反を抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。

「NP」 艇による抗議の根拠とならないことを意味する。これは規則 60.1(a) を変更している。

1. 規則

- 1.1 本大会は「セーリング競技規則 2021-2024」（以下、『規則』という）に定義された規則を適用する。
- 1.2 規則 41 に以下を追加する。
『(e) 自チーム内での情報の交換』
- 1.3 規則 60.1(b) に以下を追加する。
『ただし、艇は、自チームの他艇から受けた損傷または障害に基づいて、救済要求を行うことはできない。』
- 1.4 付則 P の「セール番号」を「艇の識別番号」に置き換え適用する。これは規則 P1.2 を変更している。
- 1.5 付則 T が適用される。
- 1.6 SCIRA 規則の「国内及び選手権大会の運営規定」は、同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き適用されない。

2. 大会を管理する文書

- 2.1 本大会を管理する以下の文章は、全日本学生ヨット連盟にて入手できる。
- 2.2 <https://www.zennihon201809.com/>
 - ① 全日本学生ヨット連盟規約
 - ② 470 級学連申し合わせ事項
 - ③ スナイプ級学連申し合わせ事項
 - ④ 艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項

3. 艇. 装備. セール

- 3.1 各クラスとも1チーム3艇とする。なお、各チームとも1艇の予備艇を認める。
- 3.2 セールは各チーム3セットする。なお、各チームとも3セットの予備セールを認める。
- 3.3 470クラスについて、以下のとおりとする。
 - ① 2021年団体登録を完了し、かつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。
 - ② セールは基本計測が完了し、かつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。また470協会に登録された艇以外のセール番号を使用してはならない。
 - ③ メイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。
- 3.4 スナイプクラスについて、以下のとおりとする。
 - ① 2021年度SCIRA登録が完了し、かつ各水域での本大会の計測を完了していること。
 - ② スナイプクラスの今年度新調したセールは、2021年の年度計測を完了し、かつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。また2021年度SCIRAに登録済の艇以外のセール番号を使用してはならない。
- 3.5 予備を含む艇は、交付される「艇の識別番号」を【添付図A】にある位置に貼り付けなければならない。
- 3.6 予備艇使用は破損の場合のみとし、最初の適当な機会にテクニカル委員会の許可を得なければならない。新たに使用する艇は各水域での本大会の大会計測を完了していなければならない。
- 3.7 両クラスとも同一のセール番号、識別番号を同時に複数の艇で使用してはならない。
- 3.8 セール交換は破損、紛失の場合のみとし、最初の適当な機会にテクニカル委員会の許可を得なければならない。新たに使用するセールのセール番号は、元のセール番号と同一でなければならない。
- 3.9 競技者は、主催団体によって提供された、トラッキングシステムをその使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく実施しなければならない。
- 3.10 個人用浮揚用具（ライフ・ジャケット）は、最低規格ISO 12402-5、またはUSCG Type III、またはAS4758 LEVEL50または同等の個人用浮揚用具を使用しなければならない。膨張式ライフ・ジャケットは認められない。

4. 広告

艇は、主催団体によって選択され、支給される広告を表示するよう要求されることがある。

5. 参加資格

- 5.1 本大会は、各水域にて予選を行い、各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学の470級とスナイプ級が参加できる。各水域の推薦枠は次の通りとする。

| 470級 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿北陸 | 関西 | 中国 | 四国 | 九州 |
|------|-----|----|----|----|------|----|----|----|----|
| 基本枠 | 1 | 1 | 6 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 特別枠 | | | 2 | | 2 | 1 | | | 1 |
| 開催地枠 | | | | 1 | | | | | |
| 合計 | 1 | 1 | 8 | 2 | 4 | 3 | 1 | 1 | 3 |

| スナイプ級 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿北陸 | 関西 | 中国 | 四国 | 九州 |
|-------|-----|----|----|----|------|----|----|----|----|
| 基本枠 | 1 | 1 | 6 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 特別枠 | | | 2 | | 1 | 1 | | | 2 |
| 開催地枠 | | | | 1 | | | | | |
| 合計 | 1 | 1 | 8 | 2 | 3 | 3 | 1 | 1 | 4 |

5.2 参加チームの競技者は、以下の事項を満たしていなければならない。

- ① 2021年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
- ② 470クラスの競技者は、日本470協会の2021年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
- ③ スナイプクラスの競技者は、2021年度SCIRA会員(Junior会員、Senior会員)であること。会員区分については、(一社)日本スナイプ協会ホームページを確認のこと。
<https://www.scirajapan.com/>
- ④ 参加チームの監督およびコーチは、2021年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
- ⑤ スポーツ安全保険(人身・物損補償)相当の保険に加入していること。

5.3 競技種目毎の大学単位の支援者登録者数を以下のように定める。また、公示6.1によりクラス毎に支援者の登録をする必要がある。

支援者(部長、監督、コーチ、マネージャー、その他サポートメンバー)：最大5名

6. 参加申し込み

6.1 参加資格を満たしたチームは、申込期日までに以下の手続きを完了させ、公示7に該当する参加料を振り込むことで参加申し込みが完了する。ただし、公示6.2に関する参加料振込については、10月31日(日)17時までに完了すること。

- ① 【参加申し込みフォーム】の該当する参加申込書を完成させ送信する。

【参加申込書フォーム】

[参加申込書-1 一般事項申込フォーム](#)

[参加申込書-2 470艇登録フォーム](#)

[参加申込書-3 470選手申込](#)

[参加申込書-4 スナイプ艇登録フォーム](#)

[参加申込書-5 スナイプ選手申込](#)

[参加申込書-7 470支援者登録](#)

[参加申込書-8 スナイプ支援者登録](#)

[参加申込書-9 無線機使用同意書 \(大会からレンタルを希望した大学のみ提出\)](#)

[参加申込書-10 艇・支援艇搬出計画書](#)

② 以下の添付書類の画像を、大会ホームページからダウンロードできる EXCEL ファイルに貼り付け、PDF ファイルに変換したものを電子メールで提出する。

- 競技者、監督、コーチ全員が『2021 年度(公財)日本セーリング連盟』の会員であることの証左。
- 470 クラスは「INTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENT FORM」の写し。
2011 年 7 月 29 日以前に登録された艇は、上記に加え「計測登録証明書」の写し。
- スナイプクラスは「スナイプクラス計測証明書」の写し。
- 各水域で実施する「大会計測証明書」。

ただし、申込期日までに水域で大会計測が完了できない場合に限り、2021 年 10 月 18 日(月)まで猶予する。

【提出先電子メールアドレス】 chubu.icyf.alljapan@gmail.com

③ 参加申込期日

2021 年 10 月 12 日(火)17 時

申込期日までに公示 6.1 が完了していない場合は、2021 年 10 月 17 日(日)17 時までの提出に限り、レイトエントリー扱いとする。ただし、コロナウイルス感染予防やその他やむ負えない理由により水域予選が締め切り日以降になった場合は除く。

6.2 支援者艇を使用する場合は、支援者艇申込期日までに【支援者艇申込フォーム】より送信し、支援者艇の船舶検査書の画像を電子メールで提出する。

【支援者艇申込書フォーム】

[参加申込書-6 支援者艇許可申請](#)

【支援者艇申込期日】2021 年 10 月 31 日(日)17 時

【提出先電子メールアドレス】

chubu.icyf.alljapan@gmail.com

6.3 期日を過ぎてからの艇、セールまたは競技者、支援者、支援者艇の追加変更登録は、主催団体を納得させる合理的な理由を必要とする。

7. 参加料

7.1 参加料等は以下のとおりとする。

① 参加料

80,000 円/1 校・1 クラス ※レイトエントリーの場合 120,000 円/1 校・1 クラス

② 識別番号料

6,300 円/1 校・1 クラス (3 艇分) ※予備艇を登録する場合 2,100 円/1 艇が必要となる。

③ 支援者艇登録料

支援者艇登録料 1,000 円/1 艇

④ 無線機借用料無線機の貸与を希望する場合は、下記の使用料が必要となる。無線機の貸与は、参加校毎に 1 台までとする。無線機借用料 2,000 円/台

⑤ 施設使用料

上記参加料には、大会期間中の11月4日から11月7日の給水設備使用料が含まれるが、大会期間中分を含めて豊田自動織機海陽ヨットハーバーでの艇保管料は含まれない。艇保管料及び、上記期間以外の給水設備使用料、支援者艇関連費は、参加チームの責任でハーバー窓口にて手続きを行い支払うこと。

【振込先】

三菱東京UFJ銀行 松阪支店 店番 532 普通口座 1041719

口座名義 イシクラ トシヒロ

※振込者の入力は、個人名ではなく、大学名とすること。

注意：全日本学生ヨット個人選手権大会と口座が異なるため間違わないこと。

7.2 申し込み後の返金は一切応じない。ただし、公示19により大会が中止された場合のみ、参加料より必要経費を差し引いた額を返金する。

8. 日程

8.1 本大会の日程は以下のとおりとする。

11月3日（水） 10:00 - 13:00 受付（ZOOM）

11月3日（水） 10:00 - 17:00 大会計測

11月3日（水） 16:00 - 16:40 主将会議（ZOOM）

11月4日（木） - 11月7日（日） レース日

11月7日（日） 16:00 表彰式

レース日に行われるレース数は次のとおり計画する。

| 日程 | 470 クラス | スナイプクラス |
|----------|---------|---------|
| 11月4日（木） | 3 | 3 |
| 11月5日（金） | 3 | 3 |
| 11月6日（土） | 3 | 3 |
| 11月7日（日） | 2 | 2 |
| 合計 | 11 | 11 |

- 毎日8:45よりブリーフィングを実施する。
- 毎日10:00に470クラスの第1レース最初の予告信号を発する。スナイプクラスの予告信号はその後に適宜発せられる。

8.2 本大会のレース数は、各クラス最大11レースを予定し3レースをもって大会成立とする。

8.3 計画しているレースを完了させるため、当日までの計画に対して1レースを越えない限りレースを前倒しすることがある。

8.4 11月7日は12:31以降に予告信号は発せられない。

8.5 受付は、【ZOOM】を使用してオンラインで行う。

【ZOOM ID:470クラス】 389 909 5063

【ZOOM ID:スナイプクラス】 523 609 5053

【ZOOM ID:支援者艇受付】 523 609 5053

【ZOOM パスワード（共通）】 chubu

8.6 主将会議は、【ZOOM】を使用してオンラインで行う。

【ZOOM ID】 389 909 5063

【ZOOM パスワード】 chubu

8.7 ブリーフィングは、【ZOOM】を使用してオンラインで行う。

【ZOOM ID】 389 909 5063

【ZOOM パスワード】 chubu

9. 計測

9.1 参加チームは、予備艇を含む艇体および予備セールを含むセールについて、各水域で実施した「大会計測証明書」を提示するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けることがある。

9.2 本大会の事前計測は、2021年7月24日(土)以降に実施されなければならない。「大会計測証明書」発行後は艇の修理・改造を行ってはならず、修理・改造を行った場合は、再計測を受けなければならない。

9.3 テクニカル委員会が納得する合理的な理由がある場合に限り、各水域で出来なかった大会計測を会場地で行う場合がある。大会で実施する計測料は、3,000円/1艇体、3,000円/セール1セットとする。

注意：この場合の合理的な理由とは、参加チームの責任ではない理由にて各水域で大会計測ができなかったことを指す。至近で艇体、セール等を購入し大会会場で受け取った場合や大会期間外の練習で破損した場合等は、合理的な理由とはならない。

10. 帆走指示書

帆走指示書は2021年10月15日(金)までに、大会ホームページに掲示する。

11. レース・エリア

【添付図B】は「レース・エリア」を示す。

12. コース

【添付図C】は、艇が帆走するコースを示している。

13. 得点

13.1 クラス別のチーム得点は、完了した全てのレースにおける各チーム3艇の得点の合計とし、より得点の少ないチームを上位とする。この項は規則A2.1を変更している。

13.2 クラス別のチーム得点がタイとなった場合は規則A8の「艇」を「チーム」に置き換えてタイを解く。

13.3 総合得点は、両クラスに参加した大学の全ての得点の合計とし、より得点の少ない大学を上位とする。

13.4 総合得点がタイとなった場合は、その大学は同位とし、その次の順位を欠位とする。

13.5 規則90.3(b)に規定された失格(「DNE」)に対する得点は、参加艇数に5を加えた得点とする。これは規則A5.2を変更している。

13.6 掲示されたレースまたはシリーズの成績結果の中に誤りがあるとして照会する場合、艇は帆走指示書のリンクにある『リクエストシート』を用いて照会することができる。

14. 賞

賞は次のように与えられる。

| 順位 | 総合 | 各クラス |
|-------|-------------------|-----------------|
| 優勝 | 総合優勝旗（持ち回り）、賞状、賞杯 | 優勝旗（持ち回り）、賞状、賞杯 |
| 2位・3位 | 賞状、賞杯 | 賞状、賞杯 |
| 4位～6位 | 賞状 | 賞状 |

15. [DP][NP]支援者・支援者艇

15.1 海陽ヨットハーバーに来場する支援者は、競技者と同様に公示 18 に従うこと。

15.2 支援者艇は、次の条件を満たす場合のみ使用が認められる。

- ① 公示 6.2、公示 7.1③を完了していること。
- ② 各大学登録できる支援者艇は、参加クラス毎に1艇とする。
- ③ 救助活動に備えて乗員は2名以上とし、定員の80%を超えて乗船してはいけない。端数の場合は、小数第一位を繰り上げた人数とする。
- ④ 支援者艇は水上にいる間、主催団体から貸与する『識別用リボン』を水面より1.5m以上の高さに掲揚するとともに、受付時に支給される『大学名を記した表示』を外部より視認できるように掲示しなければならない。
- ⑤ 主催者が指定する種類の無線機を搭載しなければならない。参加校に複数の支援者艇がいる場合は、代表支援者艇に搭載すること。

無線機は、申し込みすることで主催者から有償で借用できる。

【指定する無線機の種類】

デジタル簡易無線機（登録局）（周波数 351.2000MHz～351.38125MHz）

- ⑥ 支援者艇は、常時無線を傍受しなければならない。これら無線機は、傍受専用で、レース委員会からの救助要請時を除き、発信してはならない。
- ⑦ 主催団体が指定する棧橋以外に係留してはならない。
- ⑧ 支援者艇が乗員の乗降、機材の積み込み、積下ろしのために一時的に豊田自動織機海陽ヨットハーバーに入港する場合でも、ヨットハーバー事務室にて所定の手続きを行い、使用料を支払わなければならない。その上で、乗員の乗降、機材の積み込み、積下ろしが完了次第、速やかに出港しなければならない。

16. 責任の否認

この大会の競技者、支援者は自分自身の責任で参加する。規則3『レースをすることの決定』参照。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

17. 大会期間中の肖像権及び個人情報の公開

大会期間中の艇、競技者、支援者に関する写真、動画等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。参加申し込みにあたり提出された個人情報は、本大会の情報発信をするメディアを除き、本人の同意がない限り第三者に提供されることはない。主催者の判断により、大会情報の発信のため、名前、所属、セール番号、学年、写真、動画が含まれる内容の記事や「エントリーリスト」「成績表」などについて、大会ホームページやSNSに掲載されることがある。

18. [DP][NP]コロナウイルス感染予防対策

- 18.1 競技者及び支援者は、大会ホームページで入手できる「コロナウイルス感染予防対策について」に従わなければならない。
- 18.2 選手は、厚生労働省が公表する「新しい生活様式」を遵守すること。
- 18.3 2021年度全日本学生ヨット個人選手権大会、全日本学生シングルハンドレガッタに出場のみ
の選手は、11月4日（木）～11月7日（日）の期間、海陽ヨットハーバーでの練習等を行う
ことはできない。
- 18.4 海陽ヨットハーバーの利用にあたっては、施設が指示する【新型コロナウイルスの感染拡大
防止による施設利用の制限について】を遵守すること。これは、豊田自動織機 海陽ヨットハ
ーバーのホームページで取得できる。<http://www.aichi-koen.com/kaiyo/>
- 18.5 マスク等、感染対策に必要な物は、選手自身で準備すると共に海陽ヨットハーバー内**及び支
援者艇乗船時は必ず着用する。**
- 18.6 大会前2週間以内にコロナウイルス感染の疑いがある場合は大会に参加しない。期間内に「濃
厚接触者の新しい定義」に該当するものと接触し体調に異常を感じた場合も含まれる。
- 18.7 **公式掲示で指示した場合は、選手および公示5.3で登録した者、大会関係者以外は、大会が
指定する海陽ヨットハーバーのエリア（選手が利用しているバース、スロープ）には入って
はいけない。**
- 18.8 **選手は、毎朝の健康状態を確認し「選手用健康チェックシート」をブリーフィングまでにオン
ラインにて提出する。**
- 18.9 **海陽ヨットハーバーに来場する支援者は、来場日の朝の健康状態を確認し「支援者用健康チ
ェックシート」を海陽ヨットハーバーに入所するまでにオンラインにて提出する。**
- 18.10 **海陽ヨットハーバー入所時は、体温測定と手の消毒を実施する。この結果、体調に異状があ
る場合は来場しない。**
- 18.11 大会期間中にコロナウイルス感染の疑いがある場合は、主催団体に報告する。また、大会終
了後2週間（11月21日）以内にコロナウイルス感染症状が発生した場合も所属する水域学
連を通じ主催団体に報告する。
- 18.12 大会終了後2週間は、行動を記録し主催団体から要求があった場合は提出する。
[選手用健康チェックシート](#)
[支援者用健康チェックシート](#)

19. 大会中止の要件

次の場合は、大会を中止することがある。

- 全日本学生ヨット連盟の加盟校が活動する地域において日本国政府による緊急事態宣言が
再宣言された場合。ただし、状況を確認し出場校などに影響が無いと判断された場合は、こ
の限りでない。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため行政機関等より、愛知県において500人規模を上回
る屋外イベントの中止依頼がされた場合。
- 大会期間中に選手、関係者の新型コロナウイルス感染が発覚した場合。
- 公的機関から大会中止の指示がされた場合。
- 大会会長が、中止を判断したとき。
- 大会期間中に大会が中止された場合でも、8.2項が満足された場合は、大会は成立する。

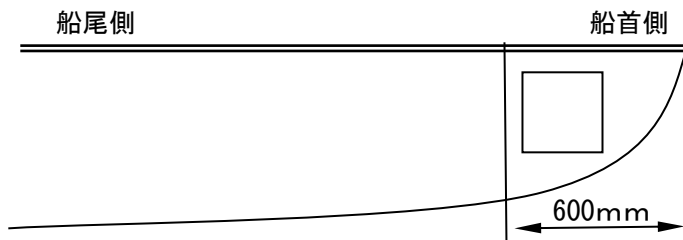
20. 問合せ先

本大会に関する問い合わせ先は、大会ホームページにあるリクエストシートにて行う。

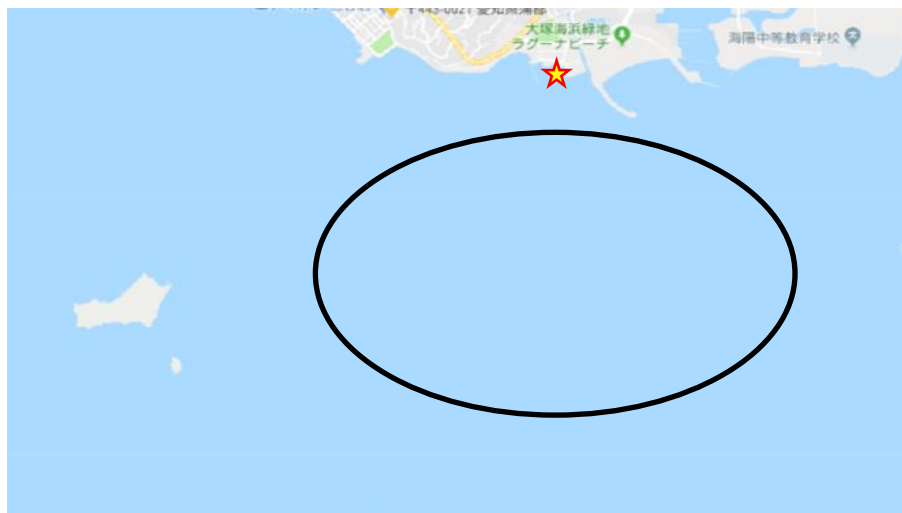
[リクエストシート](#)

[大会ホームページ](#)

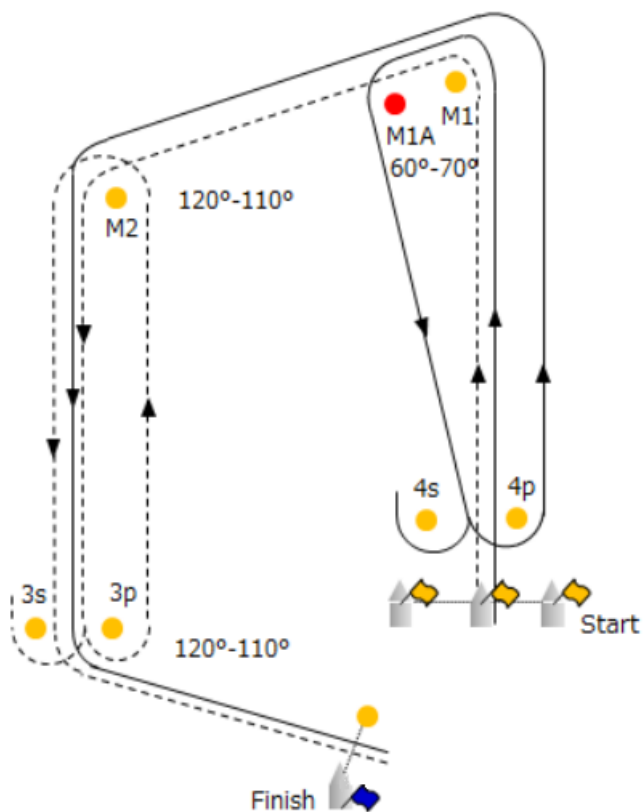
【添付図A】 「艇の識別番号」



【添付図B】 「レース・エリア」



【添付図C】 「コース図」



コース 0 : 破線

スタート → M1 → M2 → 3p/3s → M2
→ 3p → フィニッシュ

コース I : 実線

スタート → M1 → M1A → 4p/4s → M1
→ M2 → 3p → フィニッシュ